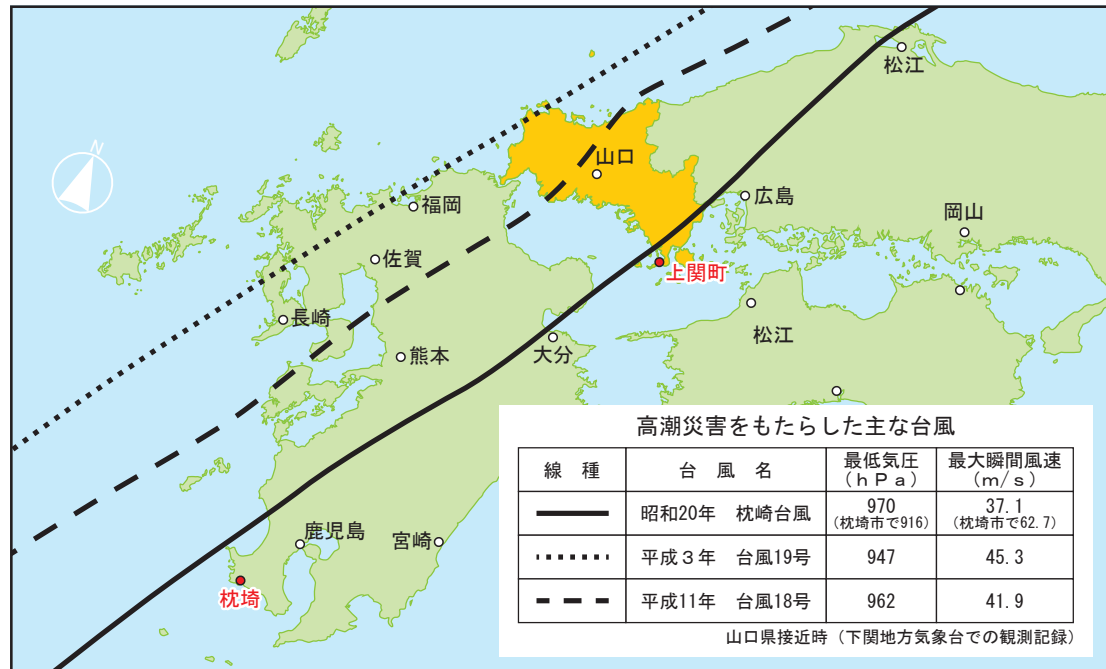


高潮災害から身を守るために

令和5年3月作成

上関町に被害をもたらした台風

このマップは、上関町において最も危険と考えられる台風のコースで、室戸台風(中心気圧)、伊勢湾台風(風速半径、移動速度)を対象として作成しています。この場合、表面の地図の色づけした部分が浸水する可能性があります。



※台風が九州付近に接近し、南～南東の強風が吹くと、高潮の危険性があります。
※光市の西側を台風が通過すると、台風が進むスピードと風のスピードが重なって、高潮が大きくなる傾向があるので注意が必要です。

想定台風の規模

中心気圧
910hPa(室戸台風)
最大旋回風速半径※
75km(伊勢湾台風)
台風の移動速度
73km/h(伊勢湾台風)

※最大旋回風速半径：台風を中心から台風の周辺で風速が最大となる地点までの距離

伊勢湾台風 [昭和34年(1959年)]

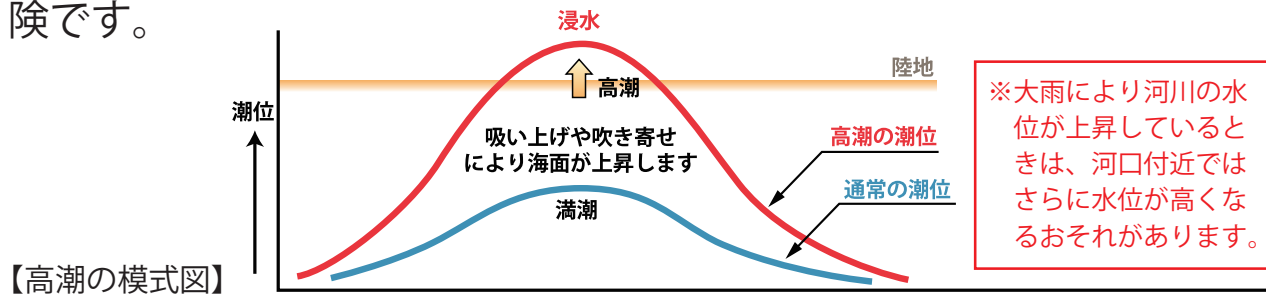
伊勢湾台風は、九州から北海道にかけてのほぼ全国で20m/sを超える最大風速と30m/sを超える最大瞬間風速を観測しました。
紀伊半島沿岸一帯と伊勢湾沿岸では高潮、強風、河川の氾濫により甚大な被害を受け、高潮により短時間のうちに大規模な浸水が起こり、死者・行方不明者が3,300名以上に達する大きな被害となりました。

室戸台風 [昭和9年(1934年)]

室戸台風は、昭和9年(1934)9月21日午前5時ごろ、室戸岬の北西24kmに上陸しその時の台風の中心の気圧は、911.8hPa(室戸岬測候所)。また午前8時ごろ大阪と神戸の中間あたりに達したその時の台風の中心の気圧は約954hPaと低く、大阪の最大瞬間風速は60m/s以上という猛烈さでした。また、低気圧と暴風により大阪湾には高潮が起き、大阪市の低地は海岸から4km以上の陸上まで浸水しその被害は甚大でした。

高潮のメカニズム

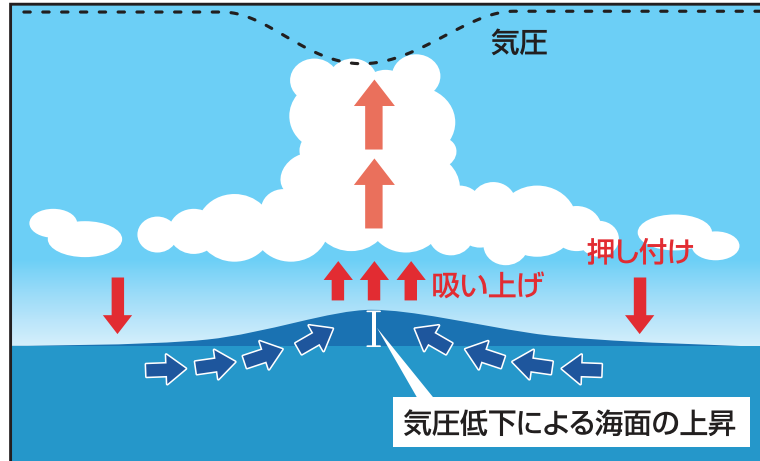
高潮の主な発生原因としては、以下の2つをあげることができます。
大潮期の満潮と高潮のピークが重なると、海面が上昇しやすく危険です。



【高潮の模式図】

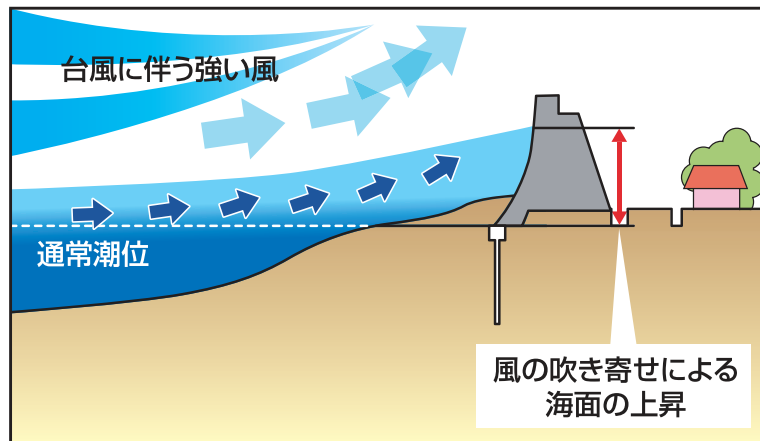
①気圧低下による海面の吸い上げ

台風や低気圧の中心気圧は周辺より低いため、周辺の大気は海面を押さえつけ、中心付近の空気が海面を吸い上げようと作用し、海面が上昇します。



②風による吹き寄せ

台風にもともなう強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ海岸付近の海面が異常に上昇します。



高潮に対する情報

5段階の警戒レベルと防災気象情報						
気象状況	警戒レベル	気象庁等の情報		上関町の対応	住民が取るべき行動	
数十年に一度の大雨	5	大雨特別警報	高潮氾濫発生情報	災害切迫	緊急安全確保	命の危険直ちに安全確保！必ず安全な避難ができず、命が危険な状況にいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動する。
<警戒レベル4までに必ず避難！>						
大雨の発現前～2時間程度	4	土砂災害警戒情報	高潮警報に切り替える可能性が高い	特別警戒	避難指示	危険な場所から全員避難
大雨の発現前～数時間前	3	大雨警報・洪水警報	高潮警報に切り替える可能性が高い	注意	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等以外の人も必要に応じて、普段の行動を合わせておいたり、避難の手順をたてたり、自主的に避難する。
大雨の発現前～約1日前	2	大雨注意情報・洪水注意情報	高潮注意情報	注意	—	自らの避難行動を確認
大雨の発現前～約1日前	1	早期注意情報(警報級の可能性)	早期注意情報(警報級の可能性)	—	—	災害への心構えを高める

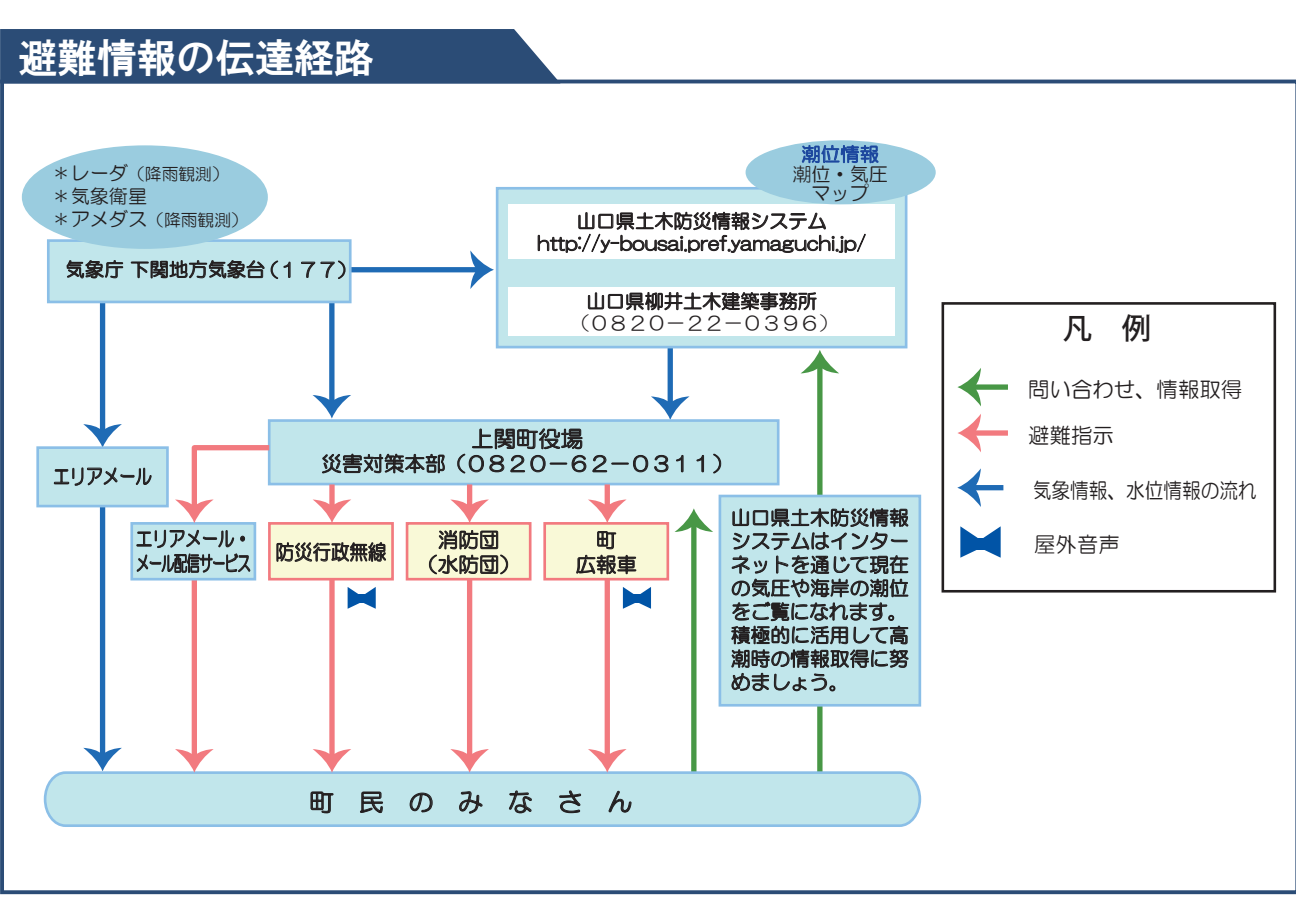
※夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

警報級の高潮となる可能性を5日前から発表(気象庁) ～高潮に関する早期注意情報の運用開始～

気象庁から5日先までの警報級の高潮となる可能性を、早期注意情報(警報級の可能性)として毎日発表されます。

	明日まで	明後日から5日先まで
発表時刻	天気予報に合わせて発表(毎日05時・11時・17時に、一次地区分区域ごとに発表)	週間天気予報に合わせて発表(毎日11時・17時に、週間天気予報と同じ予報区に発表)
発表単位	対象区域内のいずれかの市町村で警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況	対象区域内のいずれかの市町村で警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況
対象区域	危険性が高まりつつあり、「警報に切り替える可能性が高い注意報」や「予告的な前線気象情報」等がすでに発表されているか、まもなく発表されることを要しています。	心構えを早めに高めて、これら発表される「台風情報」や「予告的な前線気象情報」等の内容に十分留意するようにしてください。
対象区域	これらをもって直ちに避難等の対応を取る必要はありませんが、深夜等の警報発表も想定している心構えを一段高めておくようにしてください。	これらをもって直ちに避難等の対応を取る必要はありませんが、深夜等の警報発表も想定している心構えを一段高めておくようにしてください。

避難情報の伝達経路 / 災害時の緊急連絡先

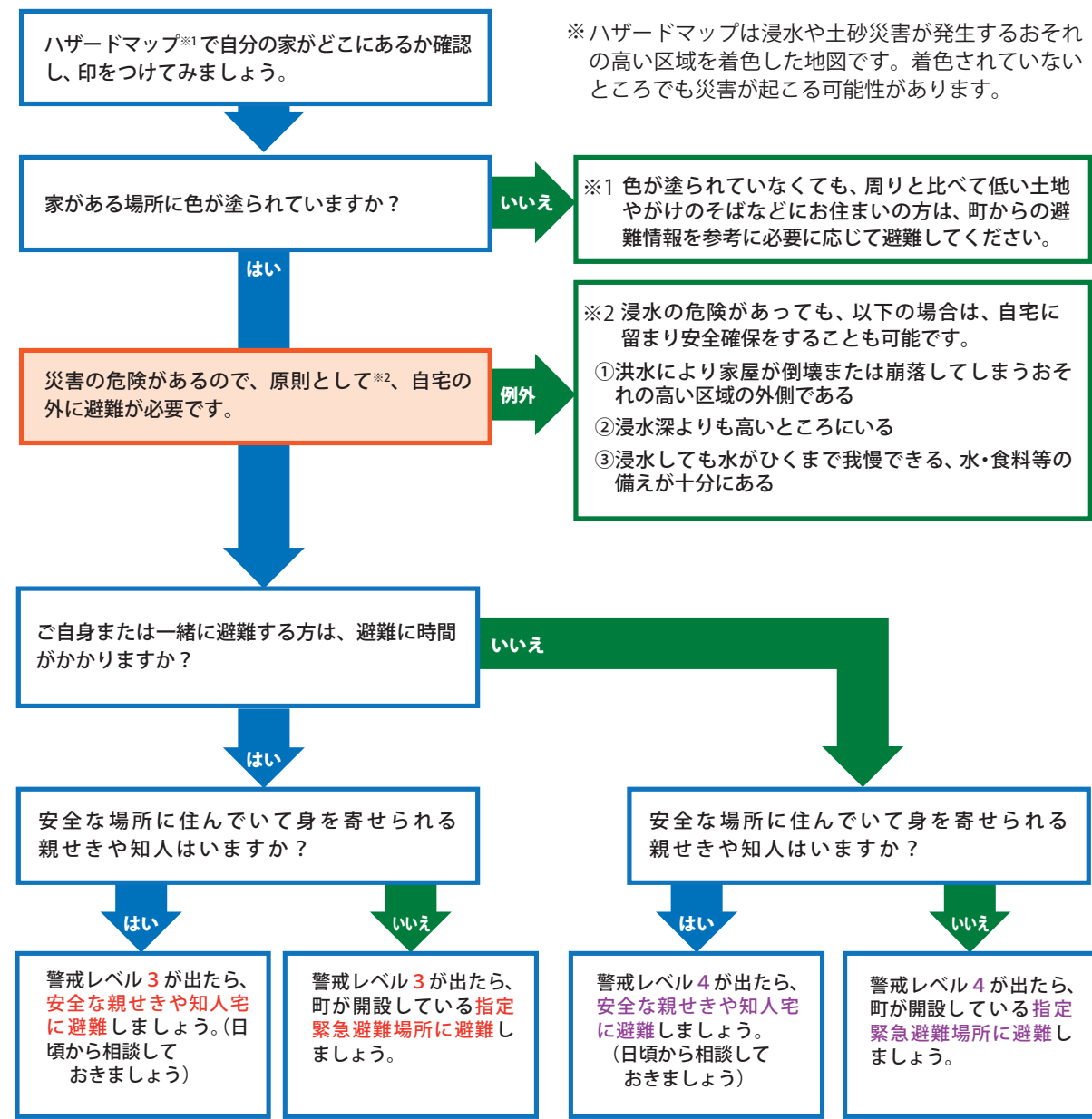


災害時の緊急連絡先

緊急連絡先	住所	電話
上関町役場(総務課)(上関消防団)	上関町大字長島448	0820-62-0311
柳井警察署	柳井市南町2-4-18	
上関駐在所	上関町大字長島583-21	0820-23-0110
室津駐在所	上関町大字室津1785-1	【緊急時】110
祝島駐在所	上関町大字祝島184-4	
柳井地区広域消防組合消防本部	柳井市南町5-4-1	0820-22-0040
柳井地区広域柳井消防署南出張所	上関町大字室津191-14	0820-62-0119
柳井土木建築事務所	柳井市南町3-9-3	0820-22-0396

避難行動判定フロー

避難行動判定フローを参考に、自宅の災害リスクや取るべき避難行動等を確認しましょう。

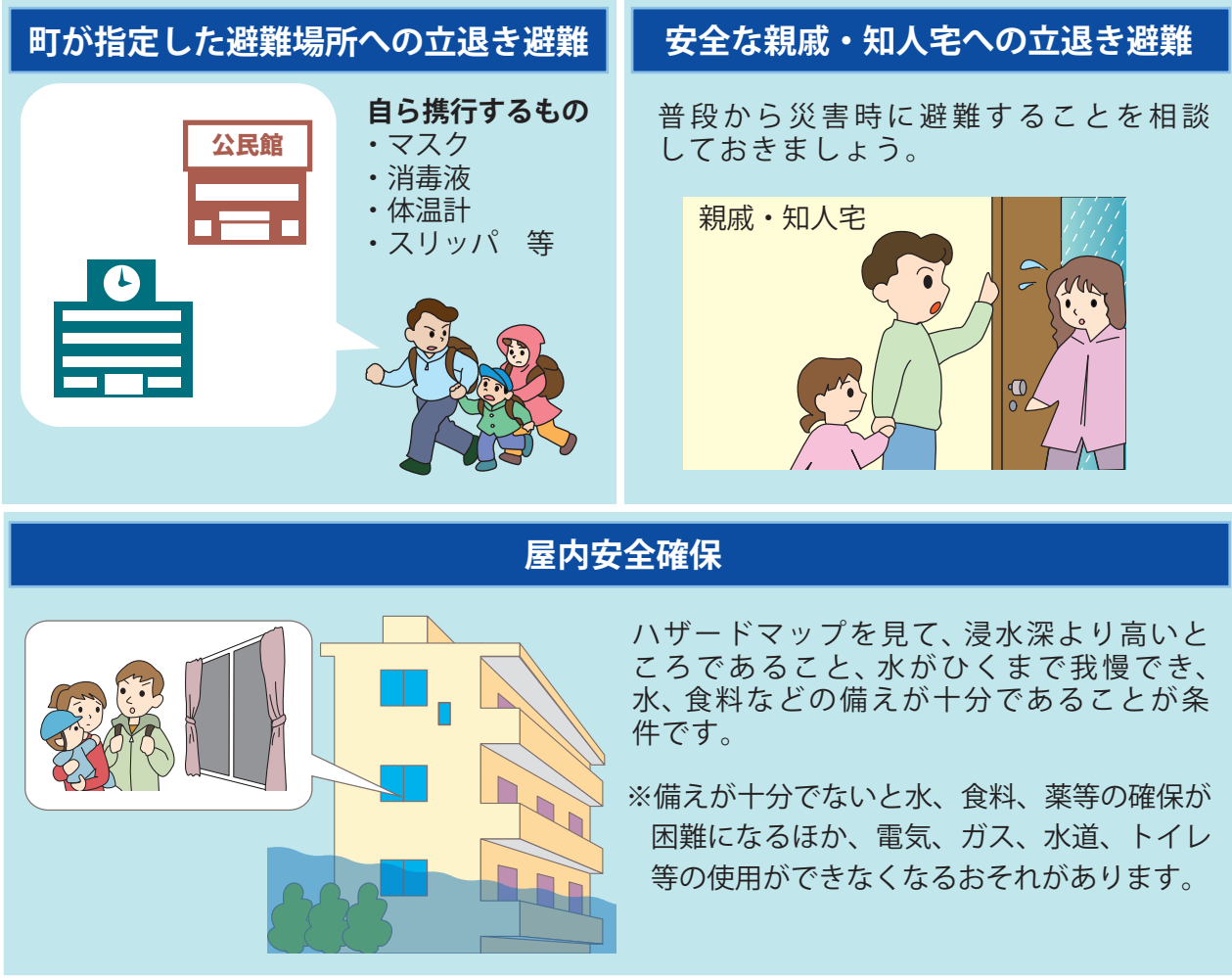


必要な行動にチェックし、他に必要な行動があれば、空欄に書き足しましょう。(警戒レベル4までに必ず避難！)

警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4
☐ 天気予報を確認 ☐ 非常持出品と備品の確認 ☐	☐ 避難方法と避難先の確認 ☐ 避難に時間がかかる方は避難の準備 ☐ 避難先(親戚・知人宅)に連絡 ☐	☐ 避難所の開設状況の確認 ☐ 避難所や安全な親戚・知人宅 ☐ 非常持出品を手元に準備 ☐	☐ 防災情報を確認 ☐ 避難所や安全な親戚・知人宅に避難 ☐

災害時の避難行動

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。
「避難」とは「難」を「避」けること。災害時の行動には3つの行動があります。



避難行動時の注意事項

- 避難時は動きやすい服装で！
特に靴は歩きやすい運動靴で。長靴は水が入るとかえって歩きにくくなります。
- 移動は二人以上で！
一人だといざという時に助け合えません。
- 危険な場所には近づかない！
地下道(アンダーパス)、地下空間、河川の近くは、浸水の可能性が高く、危険です。
- 夜間の避難は要注意！
夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しておきましょう。

要配慮者への対応

「要配慮者」とは、高齢者、障害者、乳幼児などの防災施策において特に配慮を要する方を指します。
具体的には、以下のような方々が含まれます。

- ①認知症や体力的に衰えのある高齢者
- ②心身障害者(肢体不自由者、知的障害者、内部障害者、視覚・聴覚障害者)
- ③日常的には健常者であっても理解力や判断力の乏しい乳幼児
- ④日本語の理解が十分でない外国人
- ⑤一時的な行動支障を負っている妊産婦や傷病者

災害時には助け合って早めに避難しましょう！



情報の入手先

上関町や山口県が発表する防災情報は、インターネットからでも確認することができます。

上関町ホームページ http://www.town.kaminoseki.lg.jp/	防災やまぐち http://www.bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/pub/portal-top/
山口県土砂災害ポータルサイト http://d-keikai.pref.yamaguchi.lg.jp/portal	下関地方気象台 http://www.jma-net.go.jp/shimonoseki/
山口県土木防災情報システム H Pアドレス http://y-bousai.pref.yamaguchi.jp/ 携帯アドレス http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/k/ スマートフォンアドレス http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/sp/	
●「潮位情報」では、柳井観測所(柳井市柳井)の潮位や気圧などをご覧いただけます。 ●その他、山口県内の雨量、河川の水位情報や気象情報、リアルタイムで配信しています。	
町内放送 放送が聞こえにくい、または聞き逃した場合は、電話で町内放送の確認ができます！ 電話応答装置電話番号 62-5111 (※通話料がかかります)	
NTTの気象情報 ●下関地方気象台発表の気象情報(高潮警報など)を聞くことができます。 ●満潮、干潮の時刻などを知ることができますが、柳井市における潮位の目安にしてください。 電話番号 177	
上関町メール配信サービス 本町では防災や、その他町からのお知らせなどの情報をメールで配信しています。 あらかじめ登録されたメールアドレスに、町からメールをお届けします。 登録が必要となりますので、町のホームページ「上関町メール配信サービスのご案内」をご確認ください。 上関町メール配信サービス 検索	
電話による安否確認や伝言(災害用伝言ダイヤル・伝言板) NTT災害用伝言ダイヤル171 (電話番号171) ●大災害時に電話がかかりにくい場合、家族の安否確認や伝言を行うことができます。 全国どこからでも使用できます。 ●電話番号に「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。 携帯電話の災害用伝言板 (携帯電話ウェブ) ●携帯電話を利用して、家族の安否確認や伝言を行うことができます。詳しいご利用方法は、各携帯電話会社のホームページなどをご覧ください。 ※NTTドコモ「iモード災害用伝言板」 http://www.ntt-west.co.jp/dengon/index.html http://www.ntt-west.co.jp/dengon/mobile/index.html	